

農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 重点指導結果

事業実施主体名:南河内いちごの楽園プロジェクト推進会議

令和4年8月12日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
大阪府 千早赤阪村	平成30年度	活動計画策定事業	地域特産品の「いちご」を活用してプロジェクトを立ち上げ、都市住民と農村住民の交流を図るとともに、農業者の収入の安定から定住者の増加を目指す。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

(評価コメント)

計画に定めた取組活動はおおむね達成され、取組体制も十分機能しているものの、目標の達成が低調であることから、総合的にみて成果を上げているとは認められず、「重点指導対象」である。

(助言・指導等)

推進会議において、目標のうち「空き家バンク利用登録者累計数」及び「マスコミでの取り扱い件数」が低調となった問題点について分析を行い、その上で必要な改善策を講じ、令和3年度の取組を推進されたい。

その際、コロナ禍でも認知できるSNS等による情報発信の工夫や目標を達成している活動から空き家バンク利用登録への誘引などを検討されたい。

2. 低調と評価された要因

「マスコミでの取り扱い件数」については、新型コロナウイルス感染症の影響で計画していたPRイベントの実施回数を3回から1回に減少せざるを得なかったため目標を達成出来なかった(達成率33%)。

「空き家バンク利用登録者累計数」については、累計数とすべきところを誤って新規登録者数(48人)が報告されたため、目標(100人)を達成出来なかったとの評価となった。なお、累計数は正しくは174人であり、目標を上回っていた(達成率174%)。

3. 目標達成に向けた方策

「マスコミでの取り扱い件数」については、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、PRイベント開催方式、時期及び規模を検討し、また、マスコミへの周知に努めていく。

「空き家バンク利用登録者累計数」については、目標を達成しているが、引き続き事務局のウェブサイトやSNSでの情報発信等により、登録者数の確保に努めていく。

4. 改善状況

「マスコミでの取り扱い件数」は、令和2年度は目標値3件に対し実績値1件(達成率33%)だったが、令和3年度は4件(達成率133%)に増加した。令和2年度に目標を達成していた「空き家バンク利用登録者累計数」は、令和3年度は294人(達成率294%)、「いちご販売額」は、令和3年度は59,500円(達成率253%)、「交流人口」は、令和3年度は46,085人(達成率200%)であった。

以上のように一定程度の改善が図られている。